

開館30周年記念

長野県立歴史館 令和7年 所蔵品展

2025.3.15(土)~6.15(日)

【開館】9:00【閉館】17:00(入館は16:30まで)

【休館日】毎週月曜日[ただし、5月5日(月は開館)]、
祝日の翌日[3月21日(金)、4月30日(水)、5月7日(水)]

【観覧料】一般300(200)円・大学生150(100)円

【常設展観覧共通券】一般500(400)円・大学生250(200)円

※()内は20名以上の団体料金 大学生以下(高等専門学校4年生以上、専門学校生を含む)の方は学生証の提示をお願いします。高校生以下、障害者手帳(身体・療育・精神)の交付を受けている方(要手帳提示)と付添者1名は無料

原 始

信州の
始まりを紐解く

4
つの時代を再考する

～開館30年のあゆみ展～

富士見町札沢遺跡出土
動物裝飾付釣手土器
【長野県立】

主催：長野県立歴史館

後援：信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、産経新聞社長野支局、中日新聞社、長野市民新聞社、市民タイムス、
市民新聞グループ、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、
(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、(公財)八十二文化財団



令和6年11月3日に長野県立歴史館は開館30周年を迎えました。今回の所蔵品展は、開館から30年間で収集した考古資料の中からこれまで展示する機会が少なかった資料を対象として、「長野県の特徴をあらわす遺物・長野県の文化力を表現する遺物」を中心にご紹介していきます。

また、長野県史の刊行から35年以上が経過する中で、県内各地の発掘調査も数多く行われ、新たな発見によって多くの研究成果も生まれました。そこから長野県の歴史を改めて考え直します。

Episode I

Paleolithic period ～旧石器時代～

信州の地に刻まれた人類の痕跡は約4万年前に遡ります。人類最古級の磨製石器をはじめ、石器文化の発展と狩人の様子を追います。



佐久市下茂内遺跡出土
尖頭器接合資料
【長野県宝】

Episode II

Jomon period ～縄文時代～

土器を作り、定住という新たな生活スタイルを始めた縄文時代。信州の縄文人はほかの地域と交流しながら、多彩な文化を育みました。



伊那市御殿場遺跡出土
顔面付鈎手形土器
【重要文化財（複製）】

Episode III

Yayoi period ～弥生時代～

大陸の文化・技術を取り入れ、縄文時代から続いた生活が大きく変化した弥生時代。新たな共同体として「クニ」が生まれ、信州にもその波が押し寄せました。



長野市榎田遺跡出土
「赤い土器」台付壺

Episode IV

Kofun period ～古墳時代～

「クニ」の誕生とともに生まれた人々の「階級」意識がより明確なものとなった古墳時代。各地を治めた王はヤマト政権とつながり、一つの「国」として新たな時代を迎えました。



長野市石川条里遺跡出土
石 釧

Information

講座

2025年3月1日(土) 13:30～15:00

受付中

第7回県立歴史館講座「2025年所蔵品展 原始編」

当館総合情報課 町田 勝則

講演会

2025年5月10日(土) 13:30～15:00

2月18日(火)より
受付開始

「考古資料30年の歩み」

当館総合情報課長 水澤 教子

上記以外のイベントとして4月から6月の第2土曜日に当館職員によるギャラリートークを開催します。詳しい内容につきましては当館公式ホームページにて公開いたします。

長野県立歴史館

Nagano Prefectural Museum of History

〒387-0007長野県千曲市大字屋代260-6
Tel.026-274-3991 (総合情報課)
HP <https://www.npmh.net/>
E-mail rekishikan-sogojoho@pref.nagano.lg.jp



●交通案内

長野自動車道「更埴」ICから車で5分。しなの鉄道「屋代」駅、「屋代高校前」駅から徒歩25分。高速道路バス停「上信越道屋代」から徒歩5分。